

■標準仕様表(R32) (標準設置タイプ)

項目		単位	空冷式冷専 低温用			
型式	ポンプレス仕様	-	RCGP1180ALV	RCGP1500ALV	RCGP1800ALV	RCGP2000ALV
冷却能力※1		kW	80(75)	106(100)	125(118)	140(132)
冷却COP※1		-	2.61(2.57)	2.54(2.60)	2.42(2.53)	2.28(2.41)
法定冷凍能力		トン	17.68	17.68	18.20	20.92
高圧ガス保安法区分		-	届出不要			製造届
外装(マンセル記号)		-	ナチュラルグレー(1.0Y 8.5/0.5)			
外形寸法	高さ	mm	2,450			
	幅	mm	1,000			
	奥行	mm	3,300 + 300(電気箱)			
圧縮機	型式	-	スクロール			
	台数	台	4			
	電動機定格出力	kW	6.5×4サイクル	9.0×4サイクル	11.0×4サイクル	13.3×4サイクル
	潤滑油温度調節装置	-	オイルヒーター(40.8W×8)			
空気側熱交換器型式		-	多通路クロスフィン式			
ブライン側熱交換器型式		-	プレート式			
送風機	型式	-	プロペラファン			
	台数	台	4			
	機外静圧	Pa	0			
	風量	m³/min	750	830	910	910
電動機定格出力	kW	0.45×4サイクル	0.61×4サイクル	0.79×4サイクル	0.79×4サイクル	
冷媒制御装置		-	電子膨張弁			
冷媒種類		-	R32			
封入量	kg		9.0×4サイクル			
潤滑油種類		-	FW68H			
運転調節装置	運転スイッチ	-	遠隔操作:システム運転指令/手元操作:切替スイッチ(個別運転)			
	温度調節装置	-	電子式温度調節器(出口温度制御)			
	表示灯	-	電源(白)・運転(赤)・警報(橙)			
	冷媒圧力計	-	電子式(液晶パネル表示)			
容量制御	%	100~15・停止	100~12・停止	100~10・停止	100~9・停止	
保護装置		-	高圧圧力遮断装置・低圧圧力遮断制御・凍結防止制御・吐出ガス過熱防止制御・過電流保護制御・圧縮機・送風機動力回路用ヒューズ・操作回路用ヒューズ			
電気特性	消費電力	kW	30.6	41.7	51.5	61.2
	運転電流	A	96.0	129.4	158.2	187.9
	力率	%	92	93	94	94
	始動電流(終了最大)	A	87.0	112.1	133.7	156.0
基準電流	A	137	176	222	259	
電源	動力電源(現地接続)	-	三相 200V 50/60Hz			
	圧縮機用電動機電源	-	三相 200V 50/60Hz			
	送風機用電動機電源	-	三相 200V 50/60Hz			
	操作回路電源	-	単相 200V 50/60Hz			
運転音	正面	dB(A)	63	65	67	70
	右側面	dB(A)	68	70	72	75
	左側面	dB(A)	68	70	72	75
	背面	dB(A)	65	67	69	72
配管接続口	ブライン入口	-	65Aフランジ JIS10K			
	ブライン出口	-	65Aフランジ JIS10K			
	コイルドレン	-	-			
	ベースドレン	-	Rc 1(1カ所)			
製品質量	kg	1,340				
運転質量	kg	1,380				
付属品		-	防振マット一式・簡易ストレーナー			

※1.表中の冷却能力・電気特性および運転音は次の運転条件における場合を示します。  
 空気側熱交換器入口空気乾球温度35°C・ブライン入口温度0°C・ブライン出口温度-5°C  
 ( )内の値は( )内の冷却能力にアンロードした場合のCOPです。

※2.現地の電源トランス容量および配線容量の選定は、運転条件の違いによる消費電力・運転電流の増加を見込んで、必ず表中の基準電流値で選定してください。  
 (圧縮機用電動機定格出力は実際の運転出力とは異なりますのでご注意ください。)

※3.運転音は、製品各面からの距離1m・設置面からの高さ1.5mの位置における音の無響室(自由空間)換算値です。

また、現地準備のブライン循環ポンプを接続する場合や、他の補機と電源を共有する場合には、接続する補機の消費電力および運転電流を加算して決定してください。  
 実際の据付状態では運転状況の違いや周囲の騒音・反響などの影響を受けるため、表中の値よりも大きくなります。(据付状況により異なりますが、およそ4~6dB大きくなる場合があります。)  
 また、起動時・停止時・バレル切替時などの運転状態が変化する際に過渡的に発生する音の影響により運転音が大きくなる場合があります。  
 据付に際してはこれらの影響を考慮し、必要な場合は防音処置を講じてください。

- 注記
- (1)使用するブラインについては、エチレングリコール(ショーワ(株)ショウブラインPEスーパー相当品)を標準とします。
  - (2)ブライン出口温度により製品仕様が異なります。ブライン出口温度-5~5°C・-10~5°C・-15~5°Cの3仕様。出荷時は-5~5°Cの設定になっています。  
 -5°C未満でご利用になる場合は、現地に設定変更を行ってください。温度仕様により、必要なブライン濃度(凍結温度)が異なります。  
 また、ブライン濃度変化によりブライン側熱交換器の圧力損失値が変化します。
  - (3)「設備設計・据付け上の注意点」を本カタログ121~129ページに記載していますので、必ずご確認ください。
  - (4)「使用範囲および最小保有水量」を本カタログ102ページに記載していますので、必ずご確認ください。

標準仕様表 (R32) (リニューアル設置タイプ)

50/60Hz

項目		単位	空冷式冷専 低温用			
型式	ポンプレス仕様	-	RCGP1180ALVX	RCGP1500ALVX	RCGP1800ALVX	RCGP2000ALVX
冷却能力 ※1		kW	80(75)	106(100)	125(118)	140(132)
冷却COP ※1		-	2.61(2.57)	2.54(2.60)	2.42(2.53)	2.28(2.41)
法定冷凍能力		トン	17.68	17.68	18.20	20.92
高压ガス保安法区分		-	届出不要			製造届
外装 (マンセル記号)		-	ナチュラルグレー (1.0Y 8.5/0.5)			
外形寸法	高さ	mm	2,400			
	幅	mm	2,050			
	奥行	mm	1,900 + 300 (電気箱)			
圧縮機	型式	-	スクロール			
	台数	台	4			
	電動機定格出力	kW	6.5×4サイクル	9.0×4サイクル	11.0×4サイクル	13.3×4サイクル
	潤滑油温度調節装置	-	オイルヒーター (40.8W×8)			
空気側熱交換器型式		-	多通路クロスフィン式			
ライン側熱交換器型式		-	プレート式			
送風機	型式	-	プロペラファン			
	台数	台	4			
	機外静圧	Pa	0			
	風量	m <sup>3</sup> /min	750	830	910	910
	電動機定格出力	kW	0.45×4サイクル	0.61×4サイクル	0.79×4サイクル	0.79×4サイクル
冷媒制御装置		-	電子膨張弁			
冷媒	種類	-	R32			
	封入量	kg	9.0×4サイクル			
潤滑油種類		-	FW68H			
運転調節装置	運転スイッチ	-	遠隔操作: システム運転指令/手元操作: 切替スイッチ (個別運転)			
	温度調節装置	-	電子式温度調節器 (出口温度制御)			
	表示灯	-	電源 (白)・運転 (赤)・警報 (橙)			
	冷媒圧力計	-	電子式 (液晶パネル表示)			
	容量制御	%	100~15・停止	100~12・停止	100~10・停止	100~9・停止
保護装置		-	高压圧力遮断装置・低压圧力遮断制御・凍結防止制御・吐出ガス過熱防止制御・過電流保護制御・圧縮機・送風機動力回路用ヒューズ・操作回路用ヒューズ			
電気特性	消費電力	kW	30.6	41.7	51.5	61.2
	運転電流	A	96.0	129.4	158.2	187.9
	力率	%	92	93	94	94
	始動電流 (終了最大)	A	87.0	112.1	133.7	156.0
基準電流	A	137	176	222	259	
電源	動力電源 (現地接続)	-	三相 200V 50/60Hz			
	圧縮機用電動機電源	-	三相 200V 50/60Hz			
	送風機用電動機電源	-	三相 200V 50/60Hz			
	操作回路電源	-	単相 200V 50/60Hz			
運転音 ※1 ※3	正面	dB(A)	65	68	70	70
	右側面	dB(A)	69	71	73	73
	左側面	dB(A)	69	71	73	73
	背面	dB(A)	66	69	72	72
配管接続口	ライン入口	-	65Aフランジ JIS10K			
	ライン出口	-	65Aフランジ JIS10K			
	コイルドレン	-	-			
	ベースドレン	-	Φ32パーリング (2カ所)			
製品質量	kg	1,360				
運転質量	kg	1,395				
付属品		-	防振マット一式・簡易ストレーナー			

※1. 表中の冷却能力・電気特性および運転音は次の運転条件における場合を示します。

空気側熱交換器入口空気乾球温度35℃・ライン入口温度0℃・ライン出口温度-5℃

( )内の値は( )内の冷却能力にアンロードした場合のCOPです。

なお、冷却能力・消費電力の表示値許容公差はJRA4083:2022「ラインリングユニット」によります。

※2. 現地の電源トランス容量および配線容量の選定は、運転条件の違いによる消費電力・運転電流の増加を見込んで、必ず表中の基準電流値で選定してください。

(圧縮機用電動機定格出力は実際の運転出力とは異なりますのでご注意ください。)

また、現地準備のライン循環ポンプを接続する場合や、他の補機と電源を共有する場合には、接続する補機の消費電力および運転電流を加算して決定してください。

※3. 運転音は、製品各面からの距離1m・設置面からの高さ1.5mの位置における音の無響室 (自由空間) 換算値です。

実際の据付状態では運転状況の違いや周囲の騒音・反響などの影響を受けるため、表中の値よりも大きくなります。(据付状況により異なりますが、およそ4~6dB大きくなる場合があります。)

また、起動時・停止時・バルブ切替時などの運転状態が変化する際に過渡的に発生する音の影響により運転音が大きくなる場合があります。

据付に際してはこれらの影響を考慮し、必要な場合は防音処置を講じてください。

注記

(1) 使用するラインについては、エチレングリコール (ショーワ (株) ショウラインPEスーパー相当品) を標準とします。

(2) ライン出口温度により製品仕様が変わります。ライン出口温度-5~5℃・-10~5℃・-15~5℃の3仕様。出荷時は-5~5℃の設定になっています。

-5℃未満でご使用になる場合は、現地で設定変更を行ってください。温度仕様により、必要なライン濃度 (凍結温度) が異なります。

また、ライン濃度変化によりライン側熱交換器の圧力損失値が変化します。

(3) 「設備設計・据付け上の注意点」を本カタログ121~129ページに記載していますので、必ずご確認ください。

(4) 「使用範囲および最小保有水量」を本カタログ102ページに記載していますので、必ずご確認ください。